

意見のまとめ

1-1 ホール

《要点》

- ホワイエ：開放感、明るさ、動線配慮、オブジェ、使い方いろいろ
- ホール：- 座席：ゆとり、UD 対応、動線配慮
- 舞台：高さ、舞台袖、動線配慮
- バックヤード：通路幅、天井高、防音
- トイレ：ゆとり、UD 対応、動線配慮、個数、子どもと一緒に
- 座席を実際の大きさに作って検証してみてもどうか
- 緞帳を再利用

(1) 玄関／ホワイエ空間（明るさ、空間構成）

- 外から出入口が分かりやすい様にしてほしい。
- 現八鹿文化会館の1階のホワイエは外からの光が入ってこないため、暗く感じる。
2階のホワイエみたいに外からの明るい光が入ってくると良い。
『これからホールで楽しいことがある♪』というワクワク感が、薄暗さで半減してしまうため、天井が高く、圧迫感のない空間にしてほしい。
- 陳列ケースなど様々なものが置かれているが、ホールのホワイエには不要である。
シンプルで広さを十分に確保してほしい。
- チケットをもぎった後の人の流れなど、動線を上手に考えられているホワイエが良い。
（現在は動線が悪く二階から入っているため）
- 物がゴチャゴチャと置かれていた。物置部屋が少ないのではなか。
- 物置となっているならば、貸し倉庫等も用意してはどうか。
- ホワイエを室内公園のように使いたい。（ボルダリング・木登り, etc...）

(2) ホワイエのオブジェ

- オブジェよりも掲示板とかがほしい。
- ホールロビーのモザイクタイルは破損もなく立派なので、壁画を再利用して頂きたい。
* 陶板右下に。KOTANI のサインがある。
- 一定のオブジェではなく、入れ替えできる工夫がほしい。
- ふるさとを知ることのできるような、所縁がある絵が良い。
- オブジェを飾るスペースを決め、光を取り入れられるようにしたい。
- ホールの壁のオブジェは少なめにしたほうが良い。

(3) 座席（ゆとり、UD 対応、動線配慮）／スロープ

- 前後の距離（81cm）が狭く足が窮屈。幅が狭い（43cm）、座る座面の高さが低い（35.5cm）
➡座席を実際の大きさに作って検証してみてもどうか。
- 座席の位置を（千鳥状に）ずらしてほしい。
* 最近の座席配置は殆どずらしている。（横守）
- 車いす使用者用のスペースがあることは良いが、介助者が隣に座ることもあるため、その点を考えて配置してほしい。
- 車いす使用者用のスペースのまわりに柵があるため、一般座席の端（上手側の席）へアクセスするためにまわらないといけない。動線にも配慮してほしい。
- 車いす使用者の席を1列全部にして、普段は椅子を置いてはどうか。
- ホールの中の動線をしっかりしてほしい。
- ホールの階段の段差が大きすぎる。
* 最近のホールの傾斜より少し急な設計になっている（横守）
- ホワイエから入って来る上りスロープの勾配は 10%。
* 兵庫県福祉のまちづくり条例の特定施設整備基準（H24）では、車いす使用者等に配慮して、屋内のスロープ勾配を 1/12（8.3%）以下と定めている。

(4) 舞台（高さ、舞台袖、動線配慮）／緞帳／花道

- 舞台は高い方が良い。その方が、後ろの客席の人も見やすい。
- 舞台は低い方が良い。前から1～3列の人たちがステージを見上げることになってしまう。

- 舞台の高さは演目によって望ましい高さが異なってくると思う。寄席、コーラス、吹奏楽、太鼓、様々な使い方が考えられるため、座席の配置（勾配）を含め、検討してもらいたい。
- ホールの舞台は広がった。もう少し狭くても良いかもしれない。
- イベントによっては、観客席から舞台上がることもあり、舞台と客席が行き来できる必要がある。
- 花道の先から客席の外（外部空間ではなく、屋内空間）に繋がる出入口が左右の両方にほしい。
（現八鹿文化会館は下手のみ出入口があり、上手は屋外にでてしまう）
- 舞台袖から楽屋に繋がる動線を左右の両方に確保してほしい。
- 客席の外に出たあと、楽屋に戻れる以外にホワイエに戻ることができると良い。
- 演者にとって上手⇄下手の移動がしやすい舞台が良い。舞台の裏にも通路がほしい。
- 舞台袖には更衣（早着替え）ができるだけのスペースがほしい（常設でなくて良い）。
スペースは2畳程度確保できれば良い。鏡は不要である。
- 舞台袖に段差を設けないことは前提だが、音響ためのコードなども障害物になるため、埋め込み式にするか、上を通すなどの工夫をしてほしい。
（和太鼓などを舞台へ移動させるときに、コードなどにひっかかる）
- 舞台の上手（右）下手（左）の袖が狭い。大道具を置くので舞台の幅の半分の広さはほしい。
- 緞帳を再利用して使ってほしい。
* 既に糸が劣化しているので、再利用は困難か費用がかかる（メンテナンススタッフ）
- 舞台入替え時に（緞帳ではなく）短時間で操作できる簡単な幕（霞幕）を下せるとよい。
- 最低でもティンパニのLLサイズが通れる幅が必要である。（吹奏楽顧問）

(5) バックヤード（通路幅、天井高、防音）／搬入口

- 路が全体的に狭い。楽屋前の通路を広くし、スロープにならないようにしてほしい。
- 楽器などを持っている人同時がすれ違えるように、舞台へ繋がる通路は最低でもスロープの幅（約2m）は必要である。
- 扉の高さは現状より高い方が使いやすい。おおよそ、成人男性が楽器を担いで通れる高さ。
- 通路の天井が低く、狭く感じる。
- スロープがない方が良いが、スロープの場合は滑らない床材にしてもらいたい。
ただし、現状のスロープは床材に凹凸があり、太鼓などを台車で運ぶ時にガタガタしてしまう。
- 楽屋の扉がすべて鉄製で重い。開閉時に“バタン”と大きな音がするため、舞台に気を使って開閉している。新しい楽屋では、その様なことがない扉にしてほしい。
- 全身が確認できる大きな鏡がほしい。衣装の確認などに使うためである。
- 防音がしっかりしていないため、音を出してのリハーサルができない。
音を出しリハーサルができる様に防音をしっかりしてほしい。
- トイレなどは控室の近くに設置してほしい。
- 舞台メイクなどを洗顔するため、洗面からはお湯が出るようにしてほしい。

(4) トイレ（ゆとり、UD対応、動線配慮、個数、子どもと利用）

- 現八鹿文化会館もだが、出入口が狭い（男子トイレや女子トイレの出入口までの通路を含む）。
そのため、トイレを待つ人、終わった人の列が交差しないように動線が考え、配置してほしい。
- トイレの通路が狭く、扉を開けると人にぶつかる。
- 空いているブースが一目で分かる工夫をしてほしい。（公民館や図書室なども共通）
- ベビーチェア、ベビーベッドなども設置してほしい。（公民館や図書室なども共通）
- 個室が狭いので、幼児連れで使えない。
- トイレの雰囲気は暗くイヤだ。寒い。
- 和式が多い（衛生上よい、着物の時は使いやすい）。
- 洋式が2か所で少ない（高齢者により、温水便座が付く、袴をはいている時は使いやすい）
和洋どの位の比率がよいか、よく検討してほしい。
- ホールのトイレは一定数必要。
- 控室の並びに多機能トイレがあった。
但し設備スペックは古いもので使いやすいか疑問があるので、利用者の評価が必要と思われる。
- 多目的トイレが一般トイレから離れた所にあり分かり難い。一般トイレの近くに作ってはどうか。

1-2 公民館

《要点》

【設計】

- 開放感、ぬくもり、採光・通風、わかりやすい配置
- ロビー（音、使い方いろいろ）

【設計】

- ・展示スペース（気兼ねなく鑑賞できる配置）
- ・和室（個数、使い方いろいろ、茶道、和服）
- ・調理室（動線配慮、使い方のヒアリング）
- ・キッズルーム（靴をぬぐ、親子でイベント参加、授乳室）
- ・多目的室（使われる部屋にする、使い方いろいろ）
- ・トイレ（ゆとり、UD対応、動線配慮、個数、子どもと一緒に）

- ・音のある空間、無目的室があってもいいのでは？
- ・レンタル倉庫を併設して収益を生む

(1) 空間構成

- ・現状は廊下を歩いていても閉鎖的な感じなので、もっとオープンな感じがよい。
- ・全体的に冷たい感じがした。ぬくもりを感じられるほうが良い。
- ・扉に窓が無いので、何の部屋か判らない、判り難い。
- ・部屋の数が多い。廊下はまるで迷路のようなので、もう少し整理した分かりやすい配置がよい。
- ・トイレも給湯室もあちこちにあって分かり難い。
- ・部屋の窓が大きいのに網戸がなく開けられない。自然の風を入れやすくしたい。
- ・外の明かりをとり入れ、カーテンは少なめに。
- ・傘をささずに送迎車に乗れるようにしたい。
- ・ATMも雨に濡れずに利用できるようにしたい。

(2) ロビー

- ・作品を見せ合ったり展示品があったり、自由に使えて相談や話し合いができるのでよい。
- ・現状と同じように皆で気軽にワイワイできるロビーほしい。
- ・無料なので気軽に利用できる。
- ・出入り自由なロビーを各階にほしい。各階にくつろげるスペースがあれば良い。
- ・ロビーとピロティと、喫茶店の関係性が良く、用途によって場所を選ぶことが可能。
- ・声が響くので良くない。天井が低いから？
- ・子どもと一緒に使う時はうるさくしてはいけないと思ってしまう。
屋外にもこのようなスペースがあると選べる。
- ・現在のロビーは寒い。

(3) 展示スペース

- ・現在は八鹿文化会館の2階ホワイエに展示されていることが多く、毎回2階へあがらないといけない。何かの用事で公民館に来た時にふらっと鑑賞できるような配置にしてほしい（養父公民館のように）。
- ・展示スペースに行くために、事務所の前を通るが、職員の方に頭を下げていくこともあり、少し気持ち的にハードルがある。気兼ねなく利用できると良い。
- ・絵画が多く、すっきりした方がよいのでは。展示するスペースを決める。

(4) 和室

- ・現計画では2つとなっているが、数としてはこれくらいで良い。今の八鹿公民館は和室が多い。
- ・細々とした和室が沢山あるが、そんなに必要ないのではないか。
*かつては公民館で結婚式が行われていて、和室が控室や宿泊に使われていた。
- ・和室では茶道ができるように整備しておいてほしい。
- ・室の入口に段差があり和服で歩いていると躓くので、段差は無い方がよいのではないか。

(5) 調理室

- ・調理室から食べる部屋（会議室など）へ直接配膳できるようにレイアウトしてほしい。
配膳のために廊下に出て、運ぶことがない動線計画をしてほしい。
（養父、大屋、関宮の公民館は調理室から直接会議室へ運べる）。
- ・料理研究の「いずみ会」がよく使っている。以前は調理した弁当を高齢者に配食していたが、料理を提供する場合の衛生上の基準に対応できず中止した。

(6) キッズルーム

- ・小さい子（乳幼児ではない）を連れて親子で使う。
子供は寝転がって使うので、下足を脱いで上がる点がよい。
- ・親子でのイベントに参加することが多いので、キッズスペースがあるとよい。
- ・乳幼児連れの親子の利用に対応して、授乳室がほしい。
母乳をあげる場所として、カーテン等で仕切った個室も必要。

(7) 多目的室

- ・パソコン教室が使われていなかった。目的を固定するのではなく、多目的に使えるほうが良い。

(8) トイレ（ゆとり、UD 対応、動線配慮、個数、子どもと利用）

- ・空いているブースが一目で分かる工夫をしてほしい。
- ・ベビーチェア、ベビーベッドなども設置してほしい。（公民館や図書室なども共通）
- ・個室が狭いので、幼児連れで使えない。トイレの個室数を減らしてでも 1 部屋を広くしたい。
- ・通路が狭いので、手を洗っている時に個室の扉が開くと、ぶつかる。
- ・個室が少ないのでよく並んでいる。

(9) その他

- ・音のないスタディールームだけでなく、音のある空間があってもいいのではないか。
- ・無目的の部屋があるほうがかえって使いやすい。

1-3 図書館

《要点》

【設計】

- ・動と静を段階的に分けた空間構成
 - 動 ①子どものためのスペース（多少、うるさくてもOK）
↓
 - ②少しおしゃべりしてもOK、軽食OKなスペース
 - 静 ③静かに読書や勉強ができるスペース（おしゃべりNG、飲食禁止）
- ・読み聞かせスペース（明るい、靴をぬぐ、キッズスペースと併用 NG）
- ・子ども用の出入口、トイレ
- ・本棚（配置、高さ、蔵書充実）
- ・コンセントや Wi-Fi があると便利

【運営】

- ・4 つの図書館の連携
- ・郷土史コーナーの管理
- ・常駐司書
- ・閉架書庫、蔵書の充実

(1) 空間構成

- ・図書室には以下の3種類のスペースが必要である。
 - ①子どものためのスペース（多少、うるさくてもOK）
 - ②静かに読書や勉強ができるスペース（おしゃべりNG、飲食禁止）
⇒1 人用の机、椅子など
 - ③少しおしゃべりしてもOK、軽食OKなスペース
⇒1 人用の机、椅子のほか、数人で利用できる机（4～6人?）もあると良い
- ・③は学生の学習空間をイメージしているため、図書室の中になくても良いが、無料で使えることが前提である。使われていない公民館の会議室などを開放することでも良いが、利用料はかからないようにする。
- ・今は閉鎖的な作り方だが、部屋に閉じ込めないように開けた空間がよい。
例：淡路島の洲本の図書館のように広場に開いた閲覧室がよい。
- ・図書を読むスペースはホール等としても使えるように、イス・明るさに配慮する。
- ・固定のスペースとかなではなく、自由に本を読んだり勉強できる空間がほしい。

(2) 読み聞かせスペース

- ・読み聞かせができるスペースがほしい。大きさは4畳半程度でよい。
- ・床に直接座って読み聞かせができるように、床材を検討してほしい。（ジョイントマットなどでも良い）
- ・明るさもある程度確保する必要がある。
- ・読み聞かせをするスペースのため、キッズコーナー（遊ぶ場所）などの賑やかな場所ではなく、本の近くに配置してほしい。
- ・小さい子がうるさくしても大丈夫な点がよい。
- ・読み聞かせスペースとキッズスペースは兼用しないほうがよい。

(3) 子ども用の出入口、トイレ、家具

- ・子供のためのスペースへの入り口が欲しい
 - ➡今は図書館を利用している人に気を使いながら通らないといけない
- ・子どものためのスペースと子どもトイレ・おむつ替えスペースが近いと良い。（大人用は不要）
- ・トイレの距離は子供のためのスペースから声が聞こえるくらいの近さが良い。
 - ➡複数の子供をトイレに連れていかないといけないため
- ・幼児用のテーブルや椅子を用意し、それらが配置できるスペースを確保してほしい。

(4) 本棚（配置、高さ、蔵書充実）

- ・天井が低いため図書の棚を高くできない。蔵書スペースがたくさんほしい。
- ・探している本の見やすさを考慮してほしい。
- ・閉架書庫が欲しい。

(5) 設備

- ・コンセントや Wi-Fi があると便利。
- ・書室に収蔵している DVD や音楽が聞けるスペースがほしい。

(6) 運営

- ・4つの図書館の連携だけでなく、蔵書を増やす仕組みづくりが必要。
- ・郷土史等を権限がある人が管理。
 - ➡現在郷土史等の大事な本が同じ本で数冊あり、捨てることもできない
 - ➡廃棄点検をしてくれる人が欲しい
- ・司書（職員）が貸し出し時に常駐 or すぐに来られるようにしてほしい。
- ・閉架書庫、蔵書の充実。
- ・臨時雇用してでも、図書の整理(廃棄)をして、その分配架を増やす。

1-4 その他

《要点》

- ・新文化会館について
 - 4市町が合併したが、養父市として全体が一体になっていない
 - 養父市全体の取組みにして、市が一つになるイメージを持ちたい
 - 新文化会館ができることが知られていない
 - ➡市の広報でもっと宣伝してほしい
- ・WSの進め方
 - たたき台の図面があるとイメージができ意見しやすい
 - 早く図面が見たい
 - ホールと図書館の配置が気になる
 - ホールの設計に関しては、オペレーターさんの意見を聴いてほしい
 - 旧町すべての公民館・ホールを見学してはどうか
 - 小中学生の意見も聞いてほしい
 - 世界こどもサミットと連携する
 - トイレが重要、トイレの勉強会

【運営】

- 移動図書館、移動スーパー、ビジネスホテル、診療所、デイサービス

(1) 新文化会館について

- 4市町が合併したが、養父市として全体が一体になっていない。
新文化会館はまちの拠点になるので、養父市全体の取組みにして、市が一つになるイメージを持ちたい。
今は養父と八鹿がひとつになった感じがしない。
- 現状は、新しい文化会館は八鹿の公民館の建替えて、養父の話ではない、といったイメージだ。
- 新文化会館の内容や広い公園ができることが知られていない。市の広報でもっと宣伝してほしい。

(2) WS の進め方

- ホールと図書館の配置の関係が気になる。
たたき台の図面がないとイメージがつかないので意見が言い難い。早く図面が見たい。
- ホールの設計に関しては、オペレーターさんの意見を聴いてほしい。
- 旧町(他3町)すべて、今回のように見学してはどうか。
➡見学者は可能であれば全員。それぞれの感じ方が違うため。
- 市民会館会議。小中学生の意見も聞いてほしい。世界こどもサミットと連携する。
- トイレが重要。トイレで印象が変わる。
- トイレの勉強会を開いてはどうか。勉強会は行きやすい。

(3) 運営

- 移動図書館、移動スーパー、ビジネスホテル、診療所、デイサービスについても考えたい。